

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 小平市の経営方針について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2021年策定の小平市第四次長期総合計画では、12年後に目指す小平市の姿として、つながり、共に創るまちこだいらを掲げています。実現に向け、ひとつづくり、くらしづくり、まちづくりの基本目標を設定し、施策を着実に実施するために自治体経営方針を設けており、今年1月に第2期経営方針推進プログラム(素案)が示されました。このプログラムでは2025年度から2028年度の4年間を対象期間としており、今後の自治体経営に對する市の姿勢や取組が記されています。行政側が示すものを単に説明するだけでなく、市民とともに考え推進していくことが大切です。以下質問します。

- 1, 第1期小平市経営方針推進プログラムをどう総括しましたか。成果と課題をお示ください。
- 2, 第1期と第2期経営方針推進プログラム(素案)の変更点について
 - ① 実施プログラム③市民協働の更なる推進では、市民や市民活動団体のほか民間事業者と連携した活動をステップアップするために協働の推進に関する指針の見直しを行う旨の記載がありますが、変更に至った背景、経緯をお示ください。
 - ② 実施プログラム⑤民間活力の積極的な活用では、2028年度までに1種類の新たな手法の導入を目指す旨の記載があります。どのような手法が考えられるのかお示ください。
 - ③ 実施プログラム⑧事業の精査と見直しでは、事務事業の見直しのスケジュールについて2026年度まで新たな仕組み検討となっています。どのような仕組みが想定されるのかお示ください。
- 3, 事業の精査と見直し(経営方針推進プログラム No.8) 仕分け提案への対応・進捗状況「令和5年度実績」No17 中央図書館運営管理事業の見直しに向けた課題と今後の取組には、長いスパンで地区図書館を整理統合し、施設管理費や人件費を抑えることで、図書館の本質である資料費を確保していくことも重要であり、引き続き検討を進める。とありますが、どこで検討しますか。検討の場に市民の参加はありますか。
- 4, 第2期経営方針推進プログラム(素案)ではDXに重点をおくことが示されています。取組の考え方のイメージにはDXに関する未来像の明確化・共有とあります。明確化・共有のスケジュールをお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2025年2月13日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)